香教連

香川県教職員連盟機関誌
発行所：香川県教職員連盟
発行者：森　真佐純

〒760-0004
高松市西宝町２丁目４番６０号
香川県教育会館６０２号

TEL (087) 835-2721
FAX (087) 835-2723

http://www.kakyoren.com/
E-mail:info@kakyoren.com

毎月10日発行　定価１部50円
（年間1,000円　送料とも）
会員の購読費は会費の中に含む

日本の教育への公財政支出割合は依然として低迷！

ＯＥＣＤ調査結果公表

　九月七日、文部科学省は、「図表でみる　教育二〇一〇」の概要を公表した。経済協力開発機構（ＯＥＣＤ）は、各国政府等の政策的検討に資することを目的とし、「図表でみる教育」を公表している。最新版となる二〇一〇年版の主な概要の一部を掲載する。**「日本の教育は大規模の学級で、短い時間数授業を行う。教育費における私費負担割合が高く、公財政支出が少ない」**という喜ばしくない結果となっている。（ただし、数値は二〇〇七年度であり、実質高校無償化に関する支出は反映されていない）

　詳細はホームページ参照のこと（http://www.oecdtokyo.org/）

1　教育が労働市場にもたらす影響

- 　日本では OECD 平均と同様、高等教育(大学)を修了した者は、後期中等教育(高校)しか修了していない者より、就職率が高く、失業率が低い。
- 　日本ではOECD 平均と同様、高等教育を修了した場合、後期中等教育しか修了していない者より、年間所得は高くなる。

2　教育への投資

- 　日本では初等、中等、そして高等教育において、在学者一人当たりの教育支出（公費及び私費の合計）は、OECD 各国平均を上回っているが就学前教育においてはOECD 各国平均を下回っている。
- 　「一般政府総支出に占める公財政教育支出の割合」及び「国内総生産に占める公財政教育支出の割合」は、2000 年から2007 年の間にわずかに減少し、OECD 平均を下回る。

＜参考資料＞

（%）	全教育段階	初中教育段階	高等教育段階
日　本	９．４	６．８	１．７
OECD平均	１３．３	９．０	３．１
米　国	１４．１	９．９	３．３
英　国	１１．７	８．９	２．０

＜主要国における一般政府支出に占める公財政教育支出の割合＞

（%）	全教育段階	初中教育段階	高等教育段階
日　本	３．４	２．５	０．６
OECD平均	５．２	３．５	１．２
米　国	５．３	３．７	１．２
英　国	５．４	４．１	０．９

＜主要国における公財政教育支出の対ＧＮＰ比＞

3　教育費の私費負担

- 　日本では、私費負担の割合は 2007 年において33.3%でありOECD 平均（17.4%）を大きく上回り、OECD加盟国中韓国、チリ、アメリカに次いで４番目の高い水準にある。
- 　日本における全教育段階における教育支出に占める家計負担の割合は 21.7%であり、OECD 加盟国の中でも高い水準にある。教育段階別で比較すると、家計負担の割合は特に就学前及び高等教育段階において高くなっている。

　（就学前教育段階38.7%、高等教育段階51.1%）

4　各教育段階への進学率

- 　日本の後期中等教育の卒業率(95%)は OECD 平均（80%）を上回り加盟国中でもトップクラスである。
- 　日本の高等教育進学率(77%)は OECD 平均(72%)を上回るが、大学型高等教育(48%)だけを見ればOECD平均(56%)を下回る。
- 　日本の高等教育修了率(98%)は OECD 平均(80%)を大きく上回る。

5　教育環境

- 　日本の教員の授業時間数はOECD諸国と比べて短いが、法定勤務時間数は長い。

(授業時数　日本：1,812時間　OECD平均：2,150時間)
(勤務時間　日本：1,899時間　OECD平均：1,659時間)

- 　日本の平均学級規模は、OECD諸国と比べて大きい。

　（初等教育　日本：28.1人　OECD平均：21.6人）
　（前期中等　日本：33.2人　OECD平均：23.9人）

署名簿へのご協力ありがとうございました。皆様の声を関係機関に確実に伝えます。

香教連は、子供中心の教育を目指し、健全なる批判力を持つ、県内最大の教職員団体です。

第四回「親守詩」優秀作品発表会（香川教文研共催行事）

　九月一八日（土）十三時より香川県教育会館ミューズホールにて、児童生徒とその保護者、教文研会員、モラロジー協議会員等総勢三〇〇名の参加により、第四回「親守詩」優秀作品発表会が開催された。四回目となる本年は、高松市内をはじめ、坂出市、小豆郡、三豊市、観音寺市内の児童生徒より、過去最大となる五一〇三作品の応募があった。「親守詩」選考委員長の七條正典香川大学教育学部教授の監修の元、五月中旬より作品募集が始まり、七月中に一次審査、八月中に二次審査を経て、優秀作品五七編（俳句の部二五編・エッセイの部三二編）が選出された。どの作品にも家族に対する愛情があふれており、審査に関わった香川県教育文化研究所委員は、優秀作品の選出に苦慮した。

　表彰状授与と作品発表に先立ち、開会行事、記念講演が開催された。開会行事には、香川県教育次長の八木和広氏をはじめ、高松市教育長の松井等氏や、綾宏坂出市長の他、たくさんの皆様ご出席いただき盛大に開催された。開会行事の後、プロ野球解説者で、元日本ハムファイターズ選手・コーチの白井一幸氏をお迎えし、記念講演が開催された。白井氏は、ご自身がコーチとして選手に指導された経験から、「指導者は答えを教える役目ではない。選手に如何に考えさせるかを常に考えなければならない」「勝つために頑張ってきた選手に、『失敗してもいいから頑張れ』は、励ましにならない」など、日々子供たちに対峙している私たち教師にとっても、日々の言動について深く考えさせられる講演となった。

　講演会後、最優秀作品二編と優秀作品一九編の紹介ならびに、表彰状の授与が行われた。七條委員長は講評の中で「日常の何気ない出来事を通して、子どもを大切に思う家族と、その家族の心をしっかりと受け止める子どもの心の交流が心を打つ」「たどたどしい文章の中にも、家族と子どものあたたかい心のつながりが手に取るように感じられた」と述べられ、最優秀作品の一部を紹介された。（下に最優秀作品の全文を掲載する）

総評いただいた七條教授

参加者で埋まる会場

白井氏のご講演

表彰状の授与

「俳句の部」「エッセイの部」最優秀作品

「おそらから
　ままのおなかを
　　えらんだよ」

高松市立小学校一年女児

「お母さんのかばん」

高松市立小学校五年女児

「ちゃんと整理せんからや。」

私はいつもお母さんにおこられます。私が探してもないのに、お母さんが探すとすぐに出てきます。そんなお母さんが持っているかばんはいっぱいで、いつもけい帯や財布を探してガサゴソしています。

「何が入っとん。整理せんからや。」お母さんはにっこり笑って、かばんの中を見せてくれました。その中にびっくりです。小さいころからお母さんに渡していた手紙や広告の裏に描いたお母さんの顔等、おどろくほど入っていて、それぞれに言葉と日付が書いてありました。私への思いが、かばんの中をいっぱいにして整理できないなんて、うれしくてはずかしいこの気持ちを手紙に書いて、また、いっぱいのかばんの中に入れました。

　九月一六日に文部科学省より「教員免許更新制について」という文書が公開された。その中で、「中央教育審議かにおける審議等で、教員免許更新制の在り方について検討しているが、法改正が行われるまで、現行制度が有効である」と記述し、教員免許状更新講習の受講を呼びかけている。同制度について、廃止を含めた見直しが検討されているという報道により、本年度受講を見合わせている先生方も多いと聞く。今年度末に初めての終了期限を迎える。今から受講できる講習は少ないかもしれないが、受講忘れによって、教員免許状が失効することの無いように、終了期限を控えている先生方には再度確認をいただきたい▼「香川掃除に学ぶ会」第一〇回年次大会（本紙裏面参照）が香川大学教育学部を会場に開催された。（株）イエローハット相談役鍵山秀三郎氏も来県いただき、記念講演、掃除実習とご一緒下さった。鍵山氏の講演は、暖かさにあふれ、拝聴した者の心を穏やかにする不思議な力がある。また、実習に参加した中学生に語りかける眼差しには、家族のような愛情も感じられる。日々の忙しさを一瞬忘れ、一心不乱に便器を磨く体験を大切にしたい▼平成一九年より始まった「親守詩」優秀作品発表会が、本年度で第四回を迎えた。応募作品数も増え、本取組の重要性が認知されてきたことは、関係機関の皆様のご尽力のおかげと深く感謝する。面と向かっては言えない、十分伝えられない感謝の気持ちを、俳句やエッセイに書き記すことで、再確認したり、深めたり…。受賞作品の発表中ずっと下を向いていた女児のはずかしそうにはにかんだ顔と、割れんばかりの大きな拍手に、本取組の大切さを再認識させられるとともに、本会を継続実施していく勇気が湧いてきた（も）

キャンセル待ち間近となっております

　昨号の香教連新聞に同封して募集しました、「香教連劇団四季ツアー」ですが、予定募集人数の３０名に対して、10月12日現在２９名の申込があります。現在お申込済の皆様には、間もなく、案内状を送付いたします。今しばらくお待ち下さい。申込人数が30名を超えますとキャンセル待ちとなります。参加ご希望の方は早急にお申込下さい。

　本年度も11月の開催となっております。今後とも、会員の皆様が参加しやすい時期での開催を心がけたいと考えております。ご意見をお聞かせ下さい。(ご意見は下記アドレスまで)